

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 ソンリッサ		
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 20日		～ 令和 7年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40名	(回答者数) 35名
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 20日		～ 令和 7年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 14日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	それぞれの特性をいかし、のびのびと活動が出来る場所・環境がある。(畑活動・戸外活動・おでかけ)	個別療育、集団療育を取り入れ、環境に順応し、集中力や社会性を育てている。	専門的支援等を行い、小集団でよりきめ細かい支援を行うことで苦手意識の改善に取り組んでいる。
2	毎日昼食に手作り味噌で作ったおみそ汁を提供している。	食べ物に偏りのある子が多いので、畑で育てた野菜を取り入れたり、自分たちで収穫することで食育に繋がっている。	保護者にもみそ作りに参加して頂き、手作り味噌を作る意味を知らせている。
3	法人内で学童と放課後等デイサービスがあるので、就学以降も継続して利用ができる。	学校が長期休みの際は、児童発達支援の子どもたちの利用時間に交流が出来る。一緒に遊んだり散歩に行ったりして楽しんでいる。	年長組の子どもたちは就学後の見通しがもてるように交流の場を増やしていくようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急避難時の対応について周知が不足している。	療育中の避難訓練は毎月おこなっているが、送迎時などの対応は周知できていなかった。	早急にマニュアルを作成していつでも見えるようにし、保護者へも周知してもらえるようにする。
2			
3			